

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「プレゼント・Present」の意味とは？・・・～

以前、「プレゼント」の意味とは？という通心（信）を出しましたが・・・親交のある先生に紹介してもらった本にもこんな話がかかれていました。

「プレゼントは贈り物だよ。違うのよ。プレゼントは「今・現在」ってことよ。今ここにいてことね。今あなたがここにいてことはプレゼントよ。そう！神様からのプレゼントよ！」
中学の時通っていた英語塾のイギリス人講師の先生の言葉だ。英語がぺらぺらになると評判だったので、私は親に頼み込んで通わせてもらった。

授業の始めに出席をとる。先生が「Makoto Hamaguchi」、私が「Present」と応える。

欠席者がいると、みんなで「Absent」と言う。

ある日、私はずっとそのことが疑問だったので、先生に尋ねた。

「どうして、出席のことを『プレゼント』って言うんですか？」って。

先生は片言の日本語で言った。それが・・・「神様からのプレゼント」の話だった。

当時中1だった私はあまり意味が分からなかった。分かったことは、プレゼントには「現在」という意味があるってことだけ。でも、今になって考えると先生はとてもすてきな話をしてくれたのだ。

「あなたが今ここにいてことは、神様からのプレゼント」

今＝プレゼント。今頃、こんな大事なことに気づいた。

実は、それに気づいたのは、ある本に出会ったからだ。

いもと ようこ著『まいにちがプレゼント』（金の星社 2018年）だ。

絵本の最後のページにこんなことが書いてある。

きょうは今日と書きます。えいごで今のことを present というそうです。

まいにち私たちは新しい『今日』をプレゼントされているのかもしれない。



ようやく英語塾の先生の言葉とつながった。こういうことを言いたかったのかと。

濱口 誠著「先生の真実」(文芸社)より

どうでしたか？

朝起きて、一日が始まる。いい日ばかりではない。嫌なこともいっぱいある。悩みやトラブルも必ずある。それは大人も子どもも同じこと。親も子も同じ。先生も生徒も同じ。みんな悩みをいっぱい抱えて生きている。

大人は経験があるから何とかやっていける。

でも・・・子どもは経験が少ないから、一つ一つの悩みがあまりにも大きくなってしまふことがある。

高校生の君たちは特にそうかもしれません。

困り果てたときは、経験豊富な大人に頼ること。信頼できる人に一緒にいてもらうこと。元気のない友だちがいたら、とにかく一緒にいてあげること。

私たちは生まれてきただけで、すごい奇跡！この命は奇跡！神様からプレゼント。

せっかくプレゼントされた今日を大事に。

そうして、私たちは毎日新しく生まれ変わる！

2学期がスタートし、面談週間になります。経験豊富な先生方には是非相談してくださいね。